

情報公開文書

研究名；自己注射治療を必要とする糖尿病患者の再入院を減らす薬薬連携について考える

1. 研究の対象

2022年1月～2022年3月に、東北労災病院退院時においてインスリングラルギン注を処方された入院患者様

2. 目的

退院後にインスリン自己注射が必要な方が、調剤薬局薬剤師の支援を必要としていないかを知ることが目的としております。入院中に手技や低血糖などの副作用の不安がある患者様の状況を調剤薬局の薬剤師と共有できれば、退院後も在宅で入院中と同じ又はそれ以上の支援が得られ、自己注射に対する不安解消や再入院のリスクを減らせるのではないかと考えております。

3. 方法

退院時インスリングラルギン注を処方された患者の年齢・性別、入院目的、血糖コントロール目的での入院回数、家族への指導有無、退院後の行先等を抽出します。退院の際、調剤薬局にどのような情報提供をすれば患者様が在宅で薬物療法継続のために最善の支援ができるかを検討します。

研究期間：2022年1月1日～2022年3月31日

4. データの取り扱いと個人への利益・不利益について

使用する情報は個人が特定できない形で抽出され、対象者個人の情報が漏れることはありません。研究結果は個人が特定できない形式で学会等にて発表されます。また、本研究は介入を伴わない後ろ向き観察研究のため、研究の対象となる個人への負担や利益・不利益は存在しません。

5. 問い合わせ先

本研究の対象となる方で診療情報の使用を希望されない場合、またはご不明な点がある場合は、下記までご連絡ください。診療情報の使用を拒否される場合も、患者様に不利益が生じることはありません。

東北労災病院

所在地：981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4丁目3-21

電話：022-275-1111（代表）

研究代表者：薬剤部 松江 瑞枝